



福祉施設職員ら  
食中毒対策学ぶ  
徳島市で研修会  
徳島県老人福祉施設協  
議会（中村博彦会長、二  
百七十八施設）は二十六  
日、徳島市内のセンチュ  
リープラザホテルで「感  
染防止・衛生管理研修  
会」を開き、会員施設の  
看護職員や栄養士など約  
九十人が参加した。  
冬場はノロウイルスに  
よる食中毒が多発するシ  
ーズンで、研修会では、  
徳島保健所の職員が「嘔  
吐（おうと）物などに触  
る場合は使い捨ての手袋  
を使ってほしい」などと  
食中毒対策について説  
明。共同浴場でも感染す  
るケースがあるため、オ  
ゾンによる殺菌システム  
の普及を進める団体が、  
実例をもとに浴槽の湯を  
長期間取り換えずにすむ  
仕組みを報告した。  
参加した三加茂町加茂  
の管理栄養士山下江津子  
さん（三）は「情報を持ち  
帰り、施設で衛生管理を  
徹底していきたい」と熱  
心にメモをとっていた。

徳島保健所から食中毒，共同浴場感染防止の説明が担当  
薬剤師からあり、そのあと完オゾについて殺菌効果の検証  
等説明させて頂きました。

'17.12.27

徳島新聞

徳島県老人福祉施設協議会 主催  
平成17年12月26日 『感染防止・衛生管理研修会』

講師 完全オゾン処理型循環ろ過機安全推進協議会  
安全推進部長 寺尾 智恵美  
(高知市薬剤師会会長 高知県前温泉審議会委員)